




長野県公共案内標識整備指針の見直しについて

インバウンドの増加等に対応するため、「長野県公共案内標識整備指針」の見直しを行う。

○見直しのポイント

- (1) 英文表記の混乱を防ぐため、表記例を見直し、必要な単語を新規追加する
- (2) 外国人観光客に分り易いピクトグラムにするため、ISO を意識した JISZ8210 の使用を原則とする
- (3) より見易い標識を目指し、視認性に優れた書体や色彩の使用を推奨する
- (4) 歩行者の安全確保を図るため、ユニバーサルデザインを踏まえた安全面に配慮した設置方法とする

○主な見直し内容（詳細一覧は別紙のとおり）

項目	現 状	見 直 し 案
英文表記		以下の項目を追加 登山口 Trailhead 避難所 Evacuation Area/Site 茶道体験 Tea Ceremony experience 等
	美術館：Museum of Art	当該施設の表記にあわせる 信濃美術館 Shinano Art Museum 北野美術館 Kitano Museum of Art Museum of Art 又は Art Museum
ピクトグラム	標準案内用図記号を使用	JIS Z8210 案内用図記号を原則とする
	(例 1 案内)   案内所（有人） 案内（無人）	 有人の場合は  も可とするが、原則として  を推奨する 案内（有人・無人）
	(例 2 温泉) 	 OR  インバウンドが多い地域では  を推奨
(例 3 駐車場) 	 OR  インバウンドが多い地域では  を推奨	
書体	石井明朝体、石井ゴシック体、ゴナ体、ナール体等 都市のサイン	角ゴシック体を基本とする 都市のサイン
案内標識の形状		支柱は案内板の両端への設置を推奨する
	案内板の高さ 歩行者用：中心高さ 1.5m 歩車共用：中心高さ 3m	支柱から案内板がはみ出す場合は両端を丸くする 車いす使用者と立位の利用者の双方が見やすいよう、案内板の中心高さを 125cm に推奨